

シームレスカプセルを利用したシロアリ駆除剤の特許を岡山大学と共同出願

森下仁丹株式会社(本社:大阪府中央区/代表取締役社長:駒村純一)は、国立大学法人岡山大学大学院環境学研究科の松浦准教授らの研究グループと共に、独自のシームレスカプセル技術を応用したシロアリ駆除剤を開発し、その成果を特許出願しました。

シロアリは、木材を摂食するため家屋の構造物を蝕み、特に地震の際の木造住宅での被害は深刻で、その駆除の市場規模は全世界で1000億円以上といわれています。

一般に駆除は薬剤を散布する方法で実施されますが、木材の中に潜んでいるシロアリまで完全に駆除することは難しく、駆除剤の大量散布による環境への影響が懸念されています。松浦准教授らの研究グループは、シロアリの働きアリが卵を育室に持ち帰り、舐めて世話をする習性に着目し、駆除剤入りの擬似卵を用いることでシロアリを最も効率的に巣全体を駆除する方法の確立を目指しています。

当社は平成21年9月からシームレスカプセル技術応用の一環として、この研究グループと共同でシロアリ駆除剤の開発に取り組んできた結果、卵認識フェロモンと駆除剤成分を併用して効率よくシロアリを駆除する方法を見出し、特許出願に至りました。

当社では、シームレスカプセルの応用開発に積極的に取り組んでおり、医薬品分野やプロバイオティクス、フレーバーなどの分野に加え、今後は非食品分野の産業用途への展開も注力して参ります。

以上

【本件についてのお問合せ先】

森下仁丹株式会社	広報担当 : 松浦・磯部	TEL:06-6761-1131	FAX:06-6768-1661
共同PR株式会社	第五業務局 担当:長尾・呉	TEL:03-3571-5275	FAX:03-3574-1005